

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H28-12号)

平成28年8月26日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成28年8月25日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は以下のとおりです。

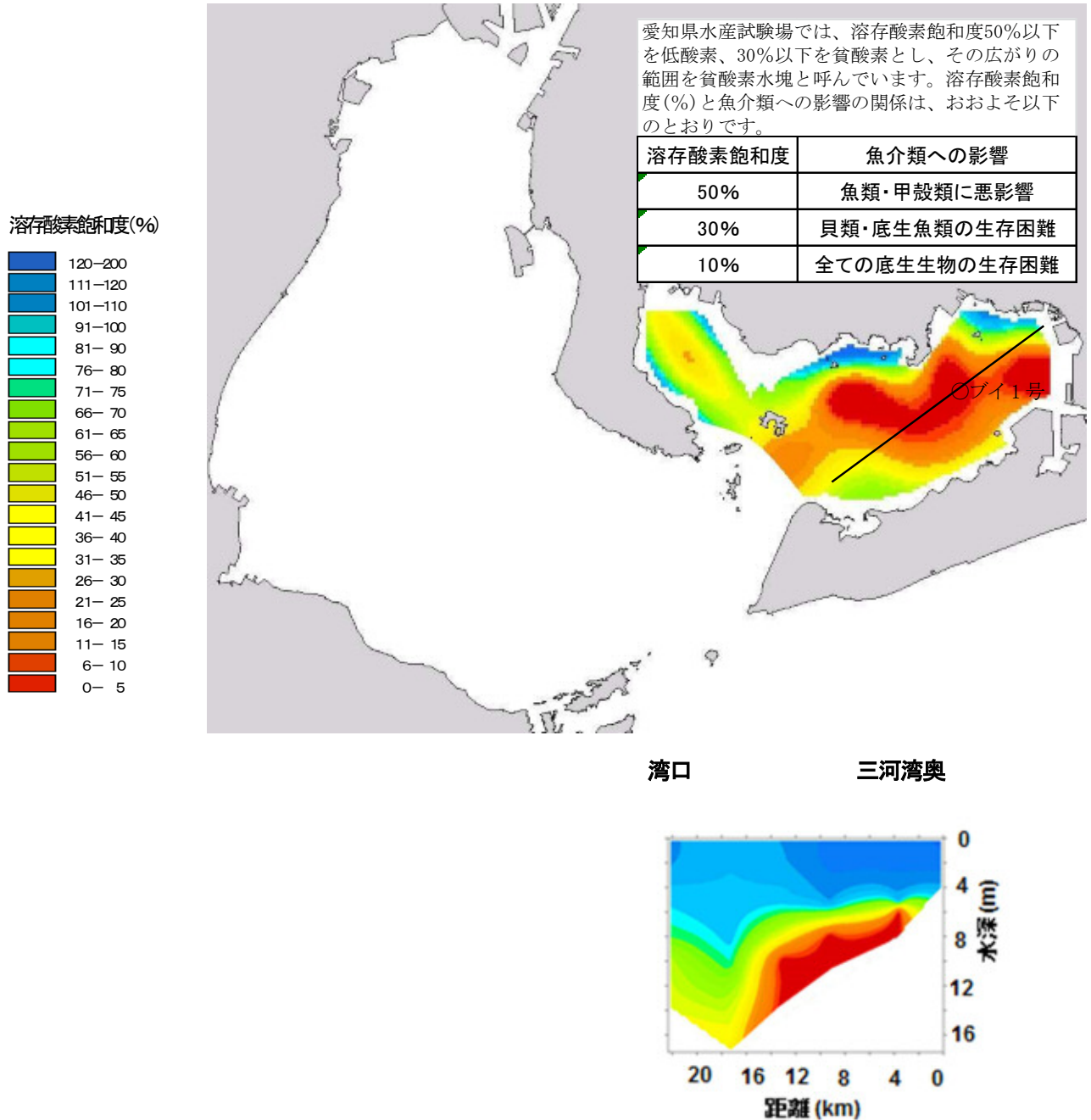


図1 三河湾(8月25日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)
(愛知県「ちた」調査)

三河湾

8月25日の調査結果を図1、表1に示しました。前回調査(8月10日)では、渥美湾は主に北西風の影響により貧酸素水塊が西寄りに移動し、湾口から湾中部で貧酸素水塊が確認されましたが、今回の調査では主に南東風の影響により湾中央から湾奥部のやや南東寄りで確認されました。また、知多湾では貧酸素水塊はほとんど確認されませんでした。

自動観測ブイ1号(蒲郡沖)のデータを見ると、強い北～西風が吹いた22～23日に海水の上下混合があり、一部は苦潮として湧昇しましたが、貧酸素水塊の解消までには至らず、底層では貧酸素化が進行しています(図2)。

台風の影響により同じ方向からの風が継続して吹くことがあります。岸から沖へ向かう風が継続して吹いた海域では、貧酸素水塊が湧昇し苦潮が発生する可能性があります。注意が必要です。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)		塩分	
表層	26.4	～ 29.5	30.0	～ 32.4
底層	23.9	～ 28.6	31.3	～ 33.0

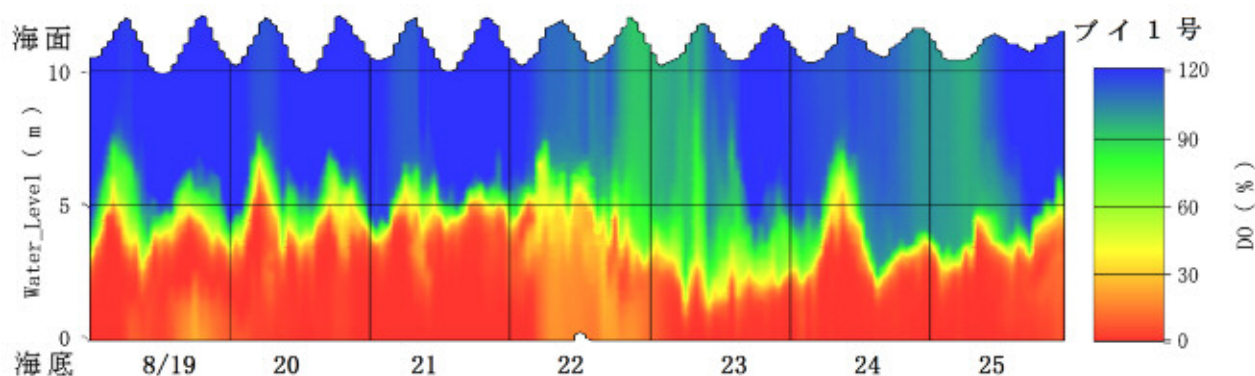


図2 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測ブイ1号)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

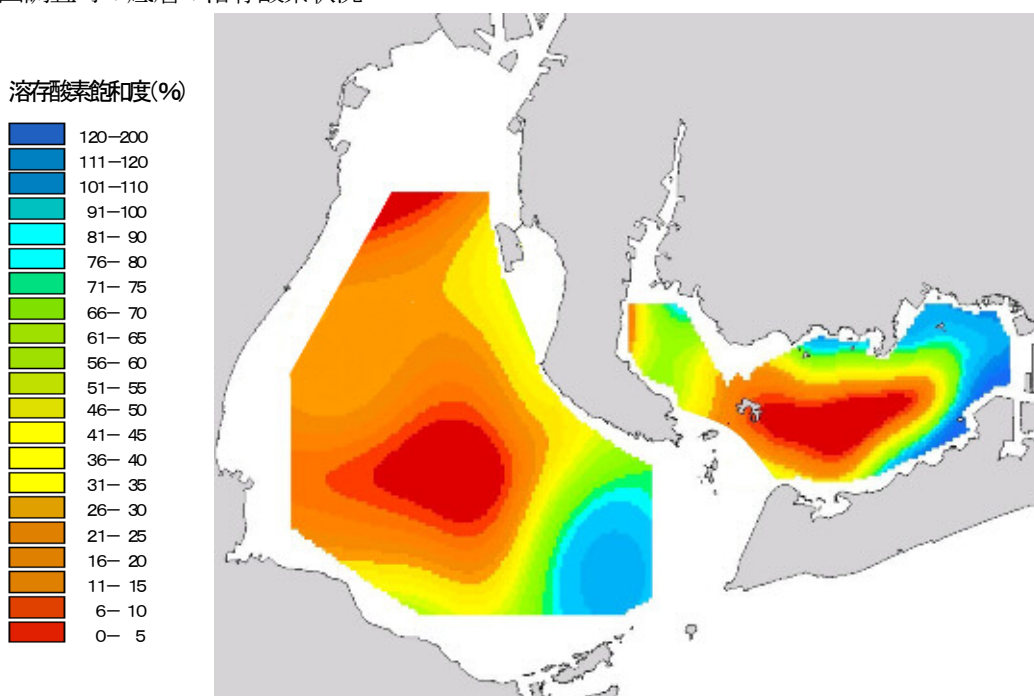


図3 平成28年8月8、10日(伊勢湾)、8月10日(三河湾)